



一関市博物館第26回 企画展

国指定重要文化財

東川院蔵

木造観音菩薩坐像と その周辺

一関市大東町渋民にある東川院の木造観音菩薩坐像は、平成30年度に国の重要文化財に指定されました。この像は、平泉周辺に残る12世紀、奥州藤原氏の時代の大作と評価されています。本展では国の重要文化財指定を記念して、本像を中心に平泉周辺の仏教文化にスポットを当て、またこの像が残された大東地域の中世の資料を取り上げ、東川院像が作られた地域の実像を浮かび上がらせます。

会期 2019年 7月20日(土) — 9月23日(月・祝)
7/20(土)は無料でご覧いただけます。

【関連行事】

講演会① 7月21日(日) 13:30~15:00

「東川院木造観音菩薩坐像とその周辺」
講師 井上大樹氏 (文化庁 文化財調査官)

講演会② 8月31日(土) 13:30~15:00

「岩手・宮城の仏像の中の東川院木造観音菩薩坐像」
講師 政次 浩氏 (東北歴史博物館 主任研究員)

講演会③ 9月15日(日) 13:30~15:00

「東川院木造観音菩薩坐像と大東の中世」
講師 当館学芸員

講演会①②③とも 定員/一般100名(要申込) 参加料/無料

展示解説会 解説は当館学芸員

① 7月21日(日) 15:10~16:00
② 8月31日(土) 15:10~16:00
③ 9月 1日(日) 10:30~11:15 / 13:30~14:15

史跡めぐり〈東磐井のお仏様〉

詳細は広報7月1日号等に掲載します。

テーマ展

テーマ展 1 没後80年 日本画家 佐藤紫煙しえん ～愛らしき花鳥画～

会期 4月27日(土) — 6月30日(日)
★4月27日(土)、5月1日(水)、5月18日(土)、19日(日)は無料でご覧いただけます。

さまざまな花がほころびかぐわしい香りを放つ中、鳥や動物、虫や魚がかわいらしい姿でポーズする、佐藤紫煙(明治6～昭和14年)の花鳥画。明治から昭和初期まで東京で活躍した一閑生まれの紫煙の作品から、とりわけ愛らしい作品をよりぬいてご紹介します。

【講演会】

「佐藤紫煙の花鳥画
～幸せのメッセージが、見えかくれ～」
講師/当館学芸員
日時/5月18日(土) 14:00～15:00
定員/一般100名(要申込)
参加料/無料

【鑑賞会】

「はじめての作品鑑賞
～みんなの知らない、とっておきの話～」
講師/当館学芸員
日時/5月19日(日) 10:30～11:30、14:00～15:00
定員/小学校5年生以上一般 各回10名(要申込)
参加料/無料 ※大人の参加も歓迎

【ギャラリートーク】

日時/5月3日(金)、5月4日(土)、5月5日(日)
各日とも10:30～11:10、14:00～14:40



「國香春霽」
佐藤紫煙

テーマ展 2 くすり文化誌 — 江戸時代の洋薬 —

会期 10月12日(土) — 12月8日(日)
★10月12日(土)、10月22日(水)、10月26日(土)・27日(日)、11月3日(日)は無料でご覧いただけます。

サフラン、ミイラ、エプリコ、人魚、ウニコール、アロエ、タバコ、コーヒー、ピール……一閑出身の蘭学者大槻玄沢が紹介した世界の薬効のある品々です。江戸時代、長崎の出島を通して舶来の薬が日本に広まりました。人々の健康を支えた江戸時代の薬の文化を紹介します。

【講演会】

「江戸時代の毒と薬」
講師/船山信次氏(日本薬科大学教授)
日時/11月17日(日) 13:30～15:00
定員/一般100名(要申込)
参加料/無料



長崎出島図

【展示解説会】

日時/10月12日(土) 13:30～14:30
11月17日(日) 15:15～16:00
11月24日(日) 10:30～11:30、13:30～14:30

テーマ展 3 一閑藩主田村家の文物

会期 2020年1月25日(土)～3月22日(日)
★1月25日(土)は無料でご覧いただけます。

天和2年(1682)から明治初年まで約190年に亘って藩政を担った一閑藩主田村家に受け継がれた古文書、武具、文芸、調度などの数々を紹介いたします。

【講演会】

「一閑藩のしくみとすがた」
日時/2月22日(土) 13:30～15:00
講師/大島晃一氏(岩手県南史談会幹事長)
定員/一般100名(要申込)
参加料/無料



朱漆塗海老鞘巻拵・剣

【展示解説会】

日時/1月25日(土) 11:00～11:40、13:30～14:10
1月26日(日) 11:00～11:40、13:30～14:10
2月22日(土) 15:10～15:50
2月23日(日) 11:00～11:40、13:30～14:10
3月21日(土) 11:00～11:40、13:30～14:10
3月22日(日) 11:00～11:40、13:30～14:10

講座

館長講座

- ①「建部清庵『民間備荒録』の執筆動機 — 寛延・宝暦の飢饉について —」
4月28日(日) 13:30～15:00
- ②「菅江真澄がみた達谷・五串 — 窟と滝、伝承など —」
8月4日(日) 13:30～15:00
- ③「大槻玄沢と寒地医療 — 仙台藩蝦夷地警固と関わって —」
11月3日(日) 13:30～15:00
講師/菊池勇夫(館長)
定員/一般50名(要申込) 参加料/無料



和算講座 入門編

定員/一般36名(要申込)
参加料/無料

- ①「和算の話(江戸・京都・一閑)」
講師/菅原通氏(岩手県和算研究会会長)
7月20日(土) 13:30～15:00
- ②「世界の算数・数学と和算」
講師/千葉秀昭氏(岩手県和算研究会)
8月17日(土) 13:30～15:00
- ③「和算書で知る江戸時代のお金事情」
講師/当館学芸員
9月14日(土) 13:30～15:00



新編塵劫記

和算講座 研究編

一閑出身の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』を通して和算を学びます。

- ①5/25 ②6/22 ③7/20 ④8/17
 - ⑤9/14 ⑥10/12 ⑦11/9 ⑧12/7
- の各(土)10:30～12:00
講師/岩手県和算研究会
定員/一般36名(要申込)
参加料/300円(初回のみ)



算法新書

古文書講座 — 伊達騒動を読む —

当館所蔵の「田村家記録」などから、仙台藩でおこったお家騒動「伊達騒動(寛文事件)」にせまります。

- ①5/26 ②6/9 ③6/23 ④7/7
- の各(土)13:00～15:00
講師/当館学芸員
定員/一般36名(要申込)
参加料/300円(初回のみ)



田村家記録

骨寺村荘園遺跡村落調査研究事業 講座「骨寺大学」



一閑市博物館では、大学等研究者と連携して骨寺村荘園遺跡の多角的な調査研究を実施しています。これらの成果を広く公開するため、連続講座を実施します。全6回。

定員/36名(要申込)
参加料/300円(初回のみ)

骨寺村荘園遺跡

- ①6月8日(土) 13:00～17:00
「骨寺村絵図の田んぼを訪ねる(現地視察)」 広田純一氏(岩手大学教授)・当館学芸員
- ②7月6日(土) 13:30～15:00
「東北地方における古代末～中世前期の開発」 佐藤健治氏(文化庁文化財調査官)
- ③8月10日(土) 13:30～15:00
「骨寺村の開発は普遍化できるか」 当館骨寺村荘園遺跡専門員
- ④9月21日(土) 13:30～15:00
「端郷としての本寺・山谷一本郷と端郷をめぐる」 菊池勇夫(当館館長)
- ⑤10月5日(土) 13:30～15:00
「中世骨寺村の信仰世界」 菅田慶信氏(岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)
- ⑥11月16日(土) 13:30～15:00
「なぞの寺満徳山宝福寺と国首権現社について」 入間田宣夫氏(東北大学名誉教授)

体験学習

🍷 グラス・ペインティング(ガラス絵)に挑戦

透明な板ガラスの裏側から絵を描く「ガラス絵」に挑戦してみませんか。ガラス絵は17世紀の半ばにオランダ商館長から初めて日本に伝えられたと言われています。その美しさには、蘭学者をはじめ当時の人たちも目を見張ったことでしょう。大人だけの参加も歓迎です。



日 時/6月1日④、6月2日⑤
各日とも
午前の部 9:00~12:00
午後の部 13:00~16:00

講 師/当館学芸員

参加料/300円(汚れてもよい服装でお越し下さい。)

定 員/小学3年生以上一般 各回15名 ※大人だけの参加も歓迎
(付き添いの保護者もご参加ください。要申込)

🍷 はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

①こどもくらぶGWSP(ゴールデンウィークスペシャル)

気軽に楽しめる体験やパズル、簡単な工作ができます。大人の方もどうぞ。

体 験/昔の遊び、智恵の板、骨寺村絵
図パズル、目付け字

工 作/うつし絵、不思議なコップ etc

日 時/4月29日⑤~5月1日⑥ 随時

対 象/どなたでも

定 員/材料がなくなり次第終了
(申込不要)

参加料/無料



②拓本をとろう

日 時/8月18日⑤
10:00~12:00
13:00~15:00

の間の随時(所要時間約1時間)

持ち物/なし。汚れてもよい服装でお越し下さい。

定 員/小学生以上親子30名(申込不要)

参加料/無料



③牛乳パックで望遠鏡をつくらう

日 時/11月10日⑤ 13:30~16:00

持ち物/1ℓの牛乳パック2個

定 員/小学生以上親子25名(要申込)

参加料/500円(材料費)



④オリジナルエコバッグをつくらう

日 時/1月5日⑤
10:00~12:00
13:00~15:00

の間随時(所要時間約1時間)

持ち物/なし。汚れてもよい服装でお越し下さい。

定 員/小学生以上50名(申込不要)

参加料/100円(材料費)



🍷 博物館でアートを楽しむ ~はじける模様の宝箱をつくらう~



スパッタリングの技法(絵の具のしぶきで紙を飾る)で「はじける模様の紙」を作って、箱を飾ってみませんか。参加者のみなさんに美術体験を楽しんでもらうことで博物館に親しんでいただく企画です。いよいよ美術振興協会会員を講師に迎えます。

日 時/6月16日⑤ 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00

講 師/いよいよ美術振興協会会員・当館学芸員

定 員/中学生以上一般 各回15名(要申込)※大人の参加も歓迎

参加料/300円

🍷 あなたも刀鍛冶修業



ワイゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(火花が散りますので、作業がしやすい服装でおいで下さい)

講 師/早坂政義氏(刀匠)

日 時/10月19日⑤ 13:00~16:00

定 員/小学5年生以上一般15名(要申込)

参加料/200円

🍷 和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



12月1日⑤に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。

締め切り/1月20日⑤消印有効

定員/どなたでも、応募者には3月末日までに解答集をお送りします。

表彰式/3月1日⑤ 13:30~15:00

ツアー

🍷 美術館ツアー

かつては良く知られていながらも、やがて忘れられ、近年再評価を受けた日本画家の展覧会を2つご覧いただけます。

当館テーマ展「日本画家 佐藤紫煙 ~愛らしき花鳥画~」を鑑賞後、事前学習をしてから、「横山華山展」を開催中の宮城県美術館へ出かけます。

博物館、美術館で作品鑑賞ができる、児童・生徒の参加も歓迎します。小学生以下は保護者の付き添いをお願いします。

レクチャー/当館学芸員

日 時/5月25日④ 9:00~17:30

(詳細は参加者に追ってお知らせします)

定 員/60名(要申込 4月16日から電話にて受け付けます)

参加料/2,500円程度(参加者に後日連絡)



このマークは小学生参加可能な行事です。

※講演会や体験学習などの申込みは、特に記載のない場合は、4月16日から随時電話にて受け付けます(TEL 0191-29-3180へ)。

※その他、行事に関する詳細は博物館へお問い合わせ下さい。

常設展示

通史展示

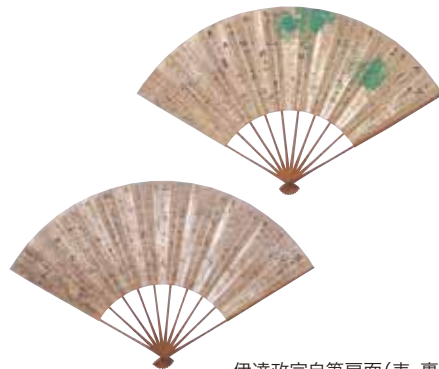
一関のあゆみ

過去から未来への展望

原始・古代から現代まで、地域の歴史の流れと特色を紹介します。中世荘園骨寺村に関する資料もブースを設けて展示しています。



中世荘園骨寺村ブース



伊達政宗自筆扇面(表・裏)

テーマ展示

1 舞草刀と刀剣

日本刀の源流・舞草刀

日本刀の源流・舞草刀の究明をめざす展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。



【刀剣】太刀 銘 舞草

2 玄沢と蘭学

蘭学者大槻玄沢の業績

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介します。



【蘭学】蘭学階梯初版本



【和算】一関八幡神社算額(復元)

3 文彦と言海

本格的国語辞書の著者

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人と業績について、映像を用いながら紹介します。



【言海】言海初版本



ながめまもりよし
長沼守敬

明治時代に活躍した一関出身の洋彫刻家、長沼守敬の作品を紹介しています。

4 一関と和算

和算隆盛の地一関

一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。

入館料

区分	料金	団体 (20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※市内65歳以上の方と障がい者・介護者の方は、入館料が免除されます。

共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

無料入館日

企画展、テーマ展の開会初日、天皇の即位の日の5/1Ⓞ、国際博物館の日の5/18Ⓡ、19Ⓢ、開館記念日の10/10Ⓡ、即位礼正殿の儀の日の10/22Ⓞ、東北文化の日の10/26Ⓡ、27Ⓢ、文化の日の11/3Ⓢ(祝)は、無料で入館いただけます。

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
資料整理のための休館日12/18Ⓡ~12/28Ⓡ
年末年始12/29Ⓢ~1/3Ⓢ

開館時間 9:00~17:00(ただし、入館は16:30まで)

交通案内

■自動車

浦和IC⇄一関IC(約4時間30分 420km)
仙台宮城IC⇄一関IC(約1時間 88km)
盛岡IC⇄一関IC(約1時間 92km)
一関ICより約7分(5km)

■JR東北新幹線

東京⇄一関(約1時間58分)
盛岡⇄一関(約23分)
仙台⇄一関(約21分)
一関駅より車で約17分(9km)

※一関駅から路線バスで約20分(厳美溪バス停下車徒歩7分)



この「年間行事案内」に対するお問い合わせ、参加申込みは、一関市博物館 TEL 0191-29-3180 まで

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

一関市博物館

検索